

News Release

2022年12月16日

東日本電信電話株式会社 埼玉事業部

『AI・ICT・VRを活用したスマートインフラ技術』や『危険の疑似体感』の展示会 「関信越 安全スタジアム」を開催

＝危険が伴う業務に従事する地域の事業者さまにも公開し、地域全体で事故ゼロを目指す＝

東日本電信電話株式会社 埼玉事業部（事業部長：市川 泰吾、以下「NTT 東日本」）は、日ごろの設備運用・保全業務で培った知見とAI・ICT・VR等の技術を活用した設備運用の安全性向上に取り組んでいます。これらの取り組みを通信工事関係者および地域のインフラ事業者・建設事業者の皆さまにもご紹介し、ご活用いただくため、2022年12月13日（火）レイボックホールにおいて「関信越 安全スタジアム」を開催しました。

1. 背景・目的

昨今では人材不足による作業者の負担増加等の問題も多く、設備保全業務の効率化が重要課題となっております。NTT 東日本では、通信インフラ保守業務のDXにいち早く取り組んでおり、多数の旧来手法をデジタルで刷新してまいりました。

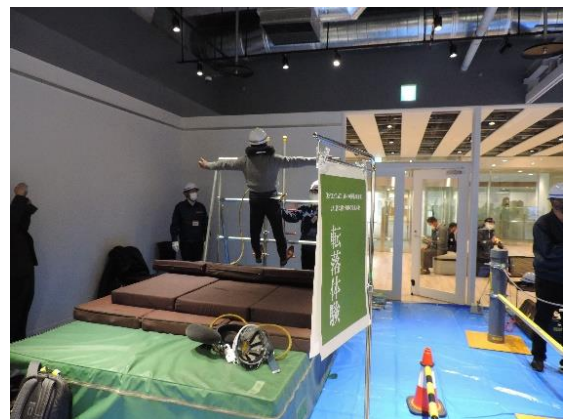
従来は通信設備工事などに携わる社員やパートナー会社の関係者の安全意識・スキル向上を目的とし、研修や勉強会といった活動を行ってまいりましたが、今回は、危険が伴う業務に従事する地域の事業者の皆さまをご招待し、各種技術や危険体感メニューをご紹介いたしました。設備運用・保全等に関わる皆さまにこれら技術を役立てていただき、地域全体の安全性向上を目指していきたいと考えています。

2. 当日の様様

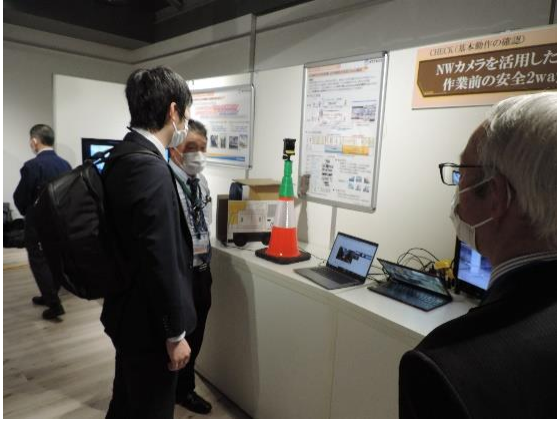
当日は、安全講話やデモンストレーションに加え、AI・ICT・VR等を活用した「危険を予知」「作業サポート」の技術や、危険な状況をリアルに再現した「危険疑似体感メニュー」など、「実際に見て触って感じる」展示により、安全について身近に感じ、考える機会を持っていただくことができました。



VRによる危険作業の疑似体感



リアルな疑似環境による落下体験



AIカメラによる現場作業の安全性向上



多数のご来場者で賑わう会場

3. 概要

- (1) 名称：2022年度 関信越 安全スタジアム（NTT 東日本 埼玉事業部主催）
- (2) 日時：2022年12月13日（火）10：00～17：30
- (3) 場所：レイボックホール 展示室・小ホール（さいたま市大宮区大門町2-118）
- (4) ご招待者：インフラ関連事業者
参加者：NTT 東日本業務従事者（関係社員等）
- (5) 内容：安全 SDCA サイクルに添った NTT 東日本の安全の取り組み
 - ①展示室：実機やデモンストレーションを中心とした「体感型」展示
 - ・危険体感（リアルで危険な状況を再現し体感、VRで体感）
 - ・ボイスKY等
 - ②小ホール：会場にカメラを設置し、オンラインでも参加可能
 - ・安全セミナー
テーマ：「労働災害が起きるとどうなる？」
講師：小菅 将樹氏（アヴァンテ労働衛生コンサルタント事務所 代表）
 - ・安全見守り競技（全員参加クイズ形式）

4. 今後の展望

今後もAI・ICT・VRなどを最大限に活用した「NTT 東日本 安全第一の取り組み」を、地域の事業者の皆さまにもご紹介し、関係者の皆さまとも協力しながら「現場での事故ゼロ」を目指してまいります。